

コード・ブルー アナフィラキシー小児救命シミュレーション とは？

法律により、アレルギー疾患を有する児童が滞在する学校・児童福祉施設において、適切な医療的配慮をする努力義務が定められました。毎日の生活だけでも忙しい中、滅多に起こらない食物アレルギーの症状にも対応を講じることになり、心配なことも多いかと思えます。本講習は、子どもを預かる施設の職員全てを対象に、食物アレルギーによるアナフィラキシー発生時の対応の実践を行い、必要となる知識や実技をマスターすることを目的とします。

食物アレルギーの子どもに、きちんとした対応ができるか心配

どうやってアナフィラキシーと判断するのか心配

管理職になったけど、食物アレルギーの発症時に指示できるか心配

そんな心配を小児アレルギーの専門家が
払拭します！！

反応がなく、呼吸もしていない子どもの対応方法が心配

エピペン®をうまく打てるかどうか心配

ネフィー®を使ったことがないから心配

AED（自動体外除細動器）があるのは知っているけど、使ったことがないので心配

体験型講習

- ◎ 実際の現場で、すぐに役に立つ内容です。
- ◎ 少人数グループに分かれ、症例シナリオを通じて具体的な過程を相談しながら学習します。
- ◎ 東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」に準拠。



【到達目標】

- ☑ アクション・カード、アクション・シートの使い方を理解できる
- ☑ 割り当てられた役割を遂行することができる
- ☑ アレルギー症状発生時に、適切な指示ができる
- ☑ アドレナリンを使用する状況が判断できる
- ☑ ネフィー®とエピペン®を正しい手技で 사용할 ことができる
- ☑ 小児の心肺蘇生を行うことができる
- ☑ AEDの操作ができる